

平成 16 年度 / 第 2 回 理事会 議事録

日 時：平成 16 年 7 月 15 日（木）15 時～17 時 30 分

場 所：電気学会 第 1～4 会議室

出席者：川村会長，長谷川会長代理，生駒・雨谷・尾形（代理：瀬尾氏）各副会長，臼田・高木・松瀬・佐々木 各常務理事，村岡専務理事，井上・石井・下位・大西 各部門長，森泉 E 準部門長，西谷・前川（代理：石岡氏）・塚本・松井・白髭・原田・芦塚（代理：森田氏）各支部長，平塚・貞川 各監事
オブザーバ：川畑・戸谷・後藤
事務局：櫛間事務局長，蘆立事務局長代理，他 5 名

配布資料：

平成 16 年度 / 第 1 回理事会 議事録（案）

平成 16 年度 第 1 回経営戦略会議 議事録（案）

平成 16 年度 電気学会役員名簿

1. 平成 16 年度 会長代理・部門長・支部長候補者 所信表明，他部門活動広報欄（平成 16 年度産業応用部門事業計画の要点）
2. 電気学会 平成 16 年度 事業計画の重点審議事項（案）
3. 平成 16 年度『経営戦略会議』の進め方（案），他
4. 会計規程，会計会議運営要綱の改正について
5. 電気・情報関連 5 学会間の相互協力に関する覚書締結について
6. 『環境技術協議会（仮称）』への対応について
7. 事業維持員代表評議員の交代について
8. 長谷川 淳先生の「会長代理」ご就任に伴う本部代表評議員後任者の選出について
9. 2004 年 5 月～2004 年 6 月会員入（退）会の承認について
10. 「委託研究」の受託要件に関する取り扱いについて〔案〕
11. 社団法人 日本工学会 平成 15 年度事業報告，他
12. 日本技術者教育認定機構（JABEE）第 5 回定時総会 概況報告
13. 平成 16 年度「関係団体諸会費」支払い状況
14. 日本学術会議法の一部改正に伴う制度の変更等について
- 15 - 1 平成 16 年電気学会全国大会 大会委員会報告書
- 15 - 2 平成 16 年電気学会全国大会 実行委員会報告書
16. 第 25 回ドライプロセス国際シンポジウム 概要報告書
17. ICEE（電気工学技術国際会議）2004 札幌大会報告
18. JST 受託業務の Web 教材作成終了報告および今後の対応について
19. 事業概況報告

議事概要

定刻に開会し，臼田総務企画理事の議事進行により議案の審議に入った。

1. 前回議事録の確認

資料「平成 16 年度 / 第 1 回理事会議事録（案）」に基づき，臼田総務企画理事から事前に配布してすでに確認頂いているが，その後の修正箇所等の有無を確認した結果，異議なく承認された。

また、参考として「平成16年度 第1回経営戦略会議 議事録(案)」の紹介があった。

2. 審議事項

2.1 平成16年度新規役員の所信表明

実質的には平成16年度最初の理事会につき、臼田総務企画理事を進行役とし、資料1「平成16年度 会長代理・部門長・支部長候補者 所信表明, 他」に基づき、平成16年度就任の新規役員からそれぞれ所信表明があり、了承された。

2.2 平成16年度事業計画の重点審議事項

櫛間事務局長から、資料2「電気学会 平成16年度 事業計画の重点審議事項(案)」に基づき、相互研鑽、情報発信の推進、人材育成の推進、社会への貢献と電気技術への理解活動の推進、学会組織・運営基盤の強化の項目ごとの具体的な実施内容についての説明および「成果目標など」については、それぞれの担当会議体で記入頂き、本年度の各事業の実施を推進願いたい旨の依頼があり審議の結果、承認された。

なお、長谷川会長代理から目標達成のため、関連会議体での情報交換に心がけてほしい旨のコメントがあった。

2.3 経営戦略会議の進め方について

蘆立事務局長代理から資料3「平成16年度『経営戦略会議』の進め方(案), 他」に基づき、これまでの実施状況および平成16年度実施事項として、中長期的な学会運営方針・事業方向性の検討、各事業のPDCA、事業収入維持と事業支出削減の推進、OAシステム更新の推進など項目ごとに説明があり審議の結果、承認された。

なお、下記の事項については記録として残すこととした。

- ・添付資料1-1中の「A部門大会の開催」の総合評価については、次回、経営戦略会議で評価方法を見直すとともに、全ての事業を対象に見直すため、今回は修正を行わず勧告1を出すのが、学生の参加比率が多いなど、A部門大会収支に関する特殊な事情を考慮してほしい旨の意見が井上A部門長からあった。

【審議にあたり出された主なご意見：C / 質疑：Q, A】

C：A部門大会の事業評価で「会員への貢献」が「1」となっているが、大会への参加者が評価「2」のガイドラインとされた1,000名以下であったことから、評価「1」と回答した。しかし、A部門は部門大会を重視しており、他の部門大会と同様に「2」と変更し、総合評価を「B」としていただきたい。また、収支に関しては、部門が開催する研究成果の発表の場には研究会と部門大会があり、A部門は研究会の収支が5部門中で最も良い。従って、研究発表の場として研究会と部門大会を合わせて総合的に評価していただきたい。

A：評価方法については改定案を作成し、次回経営戦略会議で提案し、審議の後、全ての事業について見直しを行う予定であるので、その際、修正をお願いしたい。なお、「会員への貢献」の評価については、昨年度、事業を推進する各会議体からご回答いただいたものをそのまま転記している。

C：赤字事業だけを対象としており、ネガティブな内容となっているので、黒字事業の更なる拡大の方策も含めて、経営戦略会議で検討すべきではないか。

C：規格事業への国家予算導入も考えるべきではないか。

2.4 会計規程・会計会議運営要綱の改正について

高木会計理事から、資料4「会計規程, 会計会議運営要綱の改正について」に基づき、次のとお

り改正の提案があり審議の結果、会計規程第4条（会計区分）および会計会議運営要綱第2条（審議事項）の（1）財政に関する基本方針、（2）年度予算・年度決算、（4）特別会計・受託会計の改正が原案どおり承認された。

【改正の理由】

支部会計を包含した全社会計となったことを受けて、年度予算・年度決算の対象となる会計（一般、特別、支部）を明記する必要がある。

経営改革特別委員会活動報告「3.3.1 コスト削減方策の水平展開」を継続していくことから、会計会議の審議事項として、明記する必要がある。

また、同理事から会計会議からの報告事項として、会計会議の下部組織として2つのWG（予算方式の見直しWG、支部WG）を設置して活動をしていくとの報告があった。

2.5 電気・情報関連5学会間の相互協力に関する覚書について

村岡専務理事から、資料5「電気・情報関連5学会間の相互協力に関する覚書締結について」に基づき、幹事学会（照明学会殿）から提案があった「学会間の相互協力に関する覚書（素案）」の5項目のうち、「論文投稿」を除く4項目については電気学会として締結に合意するが、「論文投稿」については、編修会議からの答申に従い締結には不参加としたい旨、説明があり審議の結果、承認され、次回の電気・情報関連学会連絡協議会へ対応案を提出することとした。

ただし、「論文投稿」については次のとおり意見があり、検討を継続することとした。

- ・会員サービスの観点で判断することが重要であり、会員の要望により段階的にでも対応していくことが必要と考える。
- ・海外の一流と言われる学会は、非会員の論文投稿を受け付ける学会が多い。
- ・査読者を増員し、各部門の査読の負担を減らすべきだ。
- ・英文論文誌発行の場合は、関連学会の相互協力が絶対に必要である。

2.6 「環境技術協議会（仮称）」への対応

蘆立事務局長代理から、資料6「環境技術協議会（仮称）への対応について」に基づき、下記の活動を実施したことが報告された。

- ・産業・環境分野の主要な6学協会（化学工学会・日本エネルギー学会・日本化学会・日本機械学会・日本鉄鋼協会・電気学会）は、化学工学会がNEDOからの受託団体となり、平成15年度「環境技術戦略に関する調査研究」を実施し、当学会から田中祀捷氏（早稲田大学）、福田輝夫氏（日本環境認証機構）に委員としてご就任頂き、環境技術分野の重点課題の抽出と連携の可能性検討、環境教育の現状と産業界における環境人材ニーズの調査等を行った。
- ・今後、「環境学会」の設立も視野に入れ、「革新的技術の創出と社会普及」を目的に、6学協会のゆるやかな連携体を設立する予定がある。

審議の結果、提案どおり、下記のとおり進めることで承認された。

- ・電気学会としては途中退会等の付帯条件をつけた上で、「環境連合協会（仮称）」に参加する。

2.7 事業維持員代表評議員の交代

事務局から、資料7「事業維持員代表評議員の交代について」に基づき、説明があり審議の結果、次のとおり交代が承認された。

前川文章氏（東北電力） 大場健二氏（東北電力）

2.8 本部代表評議員の交代

事務局から、資料8「長谷川 淳先生の「会長代理」ご就任に伴う本部代表評議員後任者の選出について」に基づき、平成14年11月の推薦の時点で次点だった6名の方々のうち、すでに評議員にご就任頂いていたり、規程に抵触する方々などを除いた結果、尾崎之孝氏（関電工）を後任者とするのがふさわしいとの提案があり審議の結果、承認され事務局が尾崎之孝氏のご承諾を打診することとした。

2.9 会員の入退会について

櫛間事務局長から資料9「2004年5月～2004年6月会員入(退)会の承認について」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認された。

- ・個人会員入会者数 499名
- ・個人会員退会者数 1,260名
- ・事業維持会員入会数 なし
- ・事業維持会員退会数 3社(4口)
- ・事業維持会員口数変更 減口5社(6口減)

上記の入退会が承認されたことにより、平成16年6月末の会員数は、個人会員24,658名、事業維持会員485社(3,372口)となった。

なお、今回は所属機関ごとに並べかえた「入退会者一覧」の提出があった。

3. 報告事項

3.1 委託研究の受託要件に関する取り扱い

蘆立事務局長代理から資料10「委託研究の受託要件に関する取り扱いについて〔案〕」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・前回理事会において提案審議があり、経営戦略会議で継続審議となった「委託研究の受託要件」に関し、指摘があった経営的なりスク等の問題点に対する回答を含めて、対応策を取りまとめ、第1回経営戦略会議(平成16年6月30日)で審議いただいた。
- ・その結果、今回は受託を見合わせる事が承認された。
- ・今後は経営戦略会議においてルールを明確化するとともに、研究調査形態の多様化についての対応を検討することとした。

3.2 「日本工学会」平成15年度事業報告・決算報告および平成16年度役員選任・事業計画案・収支予算案について

櫛間事務局長から資料11「社団法人 日本工学会 平成15年度事業報告、他」に基づき、主として平成16年度収支予算案について報告があった。なお、同学会は平成14年度に発生した事務運営混乱に伴って財政的にも逼迫した状態となっているため、加盟の学協会は同学会のキャッシュフロー確保という観点から会費の前払いを行うなどの協力を、平成17年度まで行うことになっているとのことであった。

3.3 日本技術者教育認定機構(JABEE)第5回定時総会 概況報告

村岡専務理事から資料12「日本技術者教育認定機構(JABEE)第5回定時総会 概況報告」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・平成16年度、JABEE理事会 理事として川村会長にご就任頂いた。
- ・平成15年度は、67プログラムを認定した。
- ・JABEEは、2005年6月(香港)開催の総会でワシントンアコードに正式加盟の見込み。

3.4 平成16年度課金(会費支払い状況)

事務局から資料13「平成16年度「関係団体諸会費」支払い状況」に基づき、日本工学会(495千円)、日本技術者教育認定機構(300千円)、日本工学会 PDE 協議会委員会(100千円)など、平成16年度電気学会が支払う関係団体の諸会費の状況および今後は年1回程度報告を行うとともに、新たに会費の支払いが必要な団体へ加入する際は理事会で審議頂くこととする旨報告があった。

3.5 日本学術会議法の一部改正に伴う制度の変更等について

村岡専務理事から資料14「日本学術会議法の一部改正に伴う制度の変更等について」に基づき、会員選考方法の変更、定年制の導入・再任の禁止、半数改選制の導入など「会員制度改革」関係およびこれまでの7部制を、人文科学・生命科学・理学及び工学の3部制に改組するなどの「内部組織改革」関係等、改正される法律およびそれに伴う制度の変更の概要について報告があった。

3.6 平成16年全国大会開催報告について

事務局から資料15-1「平成16年電気学会全国大会 大会委員会報告書」および資料15-2「平成16年電気学会全国大会 実行委員会報告書」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・平成16年3月17日～19日の期間、青山学院大学 相模原キャンパスにて開催された。
- ・講演会場聴講者数は3日間延べで7,311名、参加登録者数は事前・当日登録者を含め3日間で2,949名であった。
- ・収支は、参加者が多かったため+2,477,707円であった。
- ・平成17年全国大会は、3月17日～19日の期間で徳島大学にて開催される。

3.7 第25回ドライプロセス国際シンポジウム開催報告

伊澤 DPS2003 実行委員から資料16「第25回ドライプロセス国際シンポジウム 概要報告書」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・開催期間：2003年11月13日(木)～14日(金)
- ・開催場所：早稲田大学国際会議場
- ・参加者数：202名(参加国：日本、韓国、米国、シンガポール、イタリア)
- ・剰余金：規程に従い剰余金1,291,662円のうち、その20%(258,332円)を電気学会本部へ繰り入れる。
- ・次回開催：第26回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2004)は、2004年11月30日～12月1日の日程で、東京大学武田先端知ビルにおいて開催する。

3.8 ICEE 2004 札幌大会開催報告[速報]

長谷川 ICEE 2004 実行委員長から資料17「ICEE(電気工学技術国際会議)2004 札幌大会報告」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・開催期間：2004年7月4日(土)～7月8日(木)
- ・開催場所：札幌コンベンションセンタ
- ・参加者数：17ヶ国から登録参加816名(うち日本448名)、加えて同伴者32名
- ・発表論文数：17ヶ国から発表649件(うち日本263件、韓国214件、中国49件、香港20件)
- ・展示会：16社から24小間の展示があり、予想以上の来訪者があり盛況であった。
- ・次回開催：中国 CSEE 主催で、2005年7月10日から中国昆明(Kunming)にて開催される。

3.9 JST 受託業務の Web 教材作成終了報告および今後の対応

事務局から資料18「JST 受託業務の Web 教材作成終了報告および今後の対応について」に基づき、次のとおり報告があった。

- ・平成 15 年度 / 第 5 回理事会において審議・承認頂いた JST(科学技術振興機構) の WLP(Web ラーニング プラザ) 事業の受託業務について，滞りなく遂行できた。
- ・平成 16 年度以降の JST の予算では赤字受注となる恐れがあることから，WLP 事業に対する受託は今後行わない。

3.10 事業概況報告

櫛間事務局長から資料 19「事業概況報告」に基づき，学会誌・部門誌の掲載ページ数，図書出版，研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて，平成 16 年 4 月から平成 16 年 6 月まで(学会誌・部門誌の掲載頁数については，平成 16 年 7 月まで)の実績報告があった。

以上，すべての議案の審議を終了し 17 時 30 分に閉会した。